


2020 ~ 2021 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

●会長 松本 一也
●幹事 福井 学

 No.1726 令和 03 年 03 月 10 日 第 26 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org

ロータリーは機会の扉を開く

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「それでこそロータリー」

■来訪者紹介 (会長 松本一也)

卓話者

RI 第 2720 地区ローターアクト代表

宮ノ原直樹 君 (熊本グリーン RAC)

■会長の時間 (会長 松本一也)



今日は、ローターアクト地区代表の宮ノ原直樹様において頂いております、ローターアクト活動の紹介と展望について、卓話をして頂きます。よろしくお願いいたします。

また、姉妹クラブである、和歌山東南ロータリークラブから、

「和歌山東南ロータリークラブ 50 周年記念式典延期のお知らせ」が、来ております。読み上げます。このような状況なので、例会終了後、参加予定の方はお残り頂き、打ち合わせをしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

今月は、ロータリーの 7 つの重点分野「平和構築と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向上・地域社会の経済発展・環境の保全」のなかの「水と衛生」月間です。

また、SDGs (持続可能な開発目標) 6 番目の目標「安全な水とトイレを世界中に」でも、「2030 年までに、すべての人々の、適正かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女兒、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。」と目標を立てています。

前にも少しお話ししましたが、WHO によれば、2017 年、世界では、22 億人が、安全に管理された飲み水を使用できず。このうち、1 億 4 400 万人は、湖や河川、用水路などの未処理の地表水を使用しています。そして、4.2 億人が、安全に管理された衛生施設(トイレ)を使用できない。このうち 6 億 7 300 万人以上は、家や

近所に利用できるトイレがなく、道ばたや草むらなど、野外で用を足す、野外排泄を行っています。

人間、特に子供たちが生きていく上で、水と衛生は大きな問題です。汚れた水や不衛生な環境は、感染症を引き起こします。不衛生な水等を原因とする病気で、世界では毎年 180 万人の子供たちが命を落としているとも言われています。

また、教育を受けたくても受けられない子供たちがいます。水汲みが子供たちの仕事で、水場まで往復 4-5 時間かかるので学校へ行く時間がない。校舎もなく、黒板もなくノートも鉛筆も不足しており、ちゃんとした授業もできない。

そこで、年頭に、グローバル補助金を使い、子供たちが、遠くに水汲み行かないでいように井戸を掘る、また安心して学べるように、校舎、黒板、事務用品を寄付する等々。子供たちに、学ぶ機会を提供し援助することが、自分で物ごとを考えることが出来る教養のある子供たちを育て、引いてはその事が世界の平和、人類の幸せにつながることを考えると考え。「子供たちに未来を」という、目標を立てましたが、コロナウイルスのせいで、調査に行く事さえ出来ませんでした。残念です。

会長エレクトに期待します。勿論しつかりお手伝いします。

■幹事報告 (幹事 福井 学)

1)

和歌山東南ロータリークラブ
鯉坂恒夫 会長、太田豊隆 50 周年委員会委員長より、和歌山東南ロータリークラブ 50 周年記念式典延期のお知らせ。



2)

大森克磨 ガバナーエレクト、永田壮一 2011 ~ 2022 年度地区研修リーダーより、会長ノミニ研修セミナー開催の案内。

日時 2021 年 5 月 9 日 (日) 13:00 ~ 16:00

場所 ホルトホール大分 大会議室

出席義務者 会長ノミニ (2022 ~ 2023 年度会長)

3)

硯川昭一 ガバナー、青木祐心 地区大会実行委員長より、地区大会ライブ配信の案内。

3 月 14 日 12 時 45 分からアトラクションが始まります。地区の HP をご覧ください。

※皆様へメールにて案内状を転送しておりますのでご確認ください
いますようお願いいたします。

4)
硯川昭一 ガバナー、大森克磨 ガバナーエレクト、土谷壮司 米山
記念奨学会部門長、江河好洋 次年度米山部門長より、世話クラ
ブ説明会（オリエンテーション）の案内。

日時 2021年4月4日（日）受付10:00～14:30
場所 阿蘇熊本空港ホテル エミナース

5)
第8回定例理事会報告。

6)
第1回次年度理事会報告。

■今後の行事

2021	03月14日（日）	地区大会	熊本県 熊本市	オンライン配信（熊本城ホール）
	オンライン配信			
	04月04日（日）	世話クラブ説明 会（オリエンテー ション）	熊本県上 益城郡	阿蘇熊本空港ホテル エミナース
	米山奨学生カウンセラー			
04月18日（日）	地区研修・ 協議会	大分県 大分市	ホルトホール大分	
次年度地区員およびクラブ各委員会				
05月09日（日）	会長ノミニー研 修セミナー	大分県 大分市	ホルトホール大分	
新着				

■委員会報告（青少年奉仕担当 宮川義行）



アクト活動を知ってもらうために、本日と24日の2回、ローターアクト卓話をさせていただきます。本日はRI第2720地区ローターアクト代表の宮ノ原直樹さんをお願いしました。24日は東南ローターアクトの会長 櫻井君をお願いしています。新しい会員の方も増えました。分かりや

すい動画「教えてロータリー」を前編本日、後編24日に見てもらいたいと思います。宜しくお願いします。

■出席報告（出席・プログラム担当 杉本整哉）

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率（%）
02月24日	44 (免4) 40	31	4	35	87.50
03月10日	44 (免4) 40	30			75.00

☆新入会
02月24日 吉永陽三



☆出席免除

02月24日 住江正治 佐野 茂 島村徹男 鷺山法雲
03月10日 住江正治 佐野 茂 島村徹男 鷺山法雲

☆欠席者（5名）

02月24日 川崎直樹 白石 繁 山本浩之 山坂哲生
矢野敬之

■スマイル報告

（親睦・スマイル担当委員
松岡歩紗実）

◎前田日出夫 10,000円



来週の歓迎会
は欠席します
のでお詫びのスマイルです。

◎宮川義行 7,000円



本日はアクト卓話の時間を頂きました。第2720地区ローターアクト代表の宮ノ原さんにアクト活動の現況についてお話していただきます。近年会員減少の中、アクト会員増強のために、クラブとしての応援よろしくお祈りいたします。

◎小畑成司 2,000円



結婚記念日のお花ありがとうございました。バツイチ同士の結婚披露宴で約500名様にご出席いただき、早6年がたちました。その時の東南ロータリークラブの出席メンバーも約半数の23名しか残っておりません。コロナのお陰でこの1年海外添乗もなくなり2人の愛が一層深まりました。ワクチン接種も始まり、早く元の生活に戻ってほしいと願うばかりです。

◎松本一也 2,000円



ローターアクト地区代表 宮ノ原直樹様の卓話楽しみにしています。

■ローターアクト委員会卓話

（RI第2720地区
ローターアクト代表 宮ノ原直樹）



「ローターアクトの現状と活動について」

当地区のアクターが減少傾向にあります。16-17年度では7月年頭会員数で115名、17-18年度では年度開始前に大分中央RACが設立されたため126名と増えていますが、その後は減少が続く、当年度は86名からのスタートとなりました。18年前などは300名以上いた時期もあったことも鑑みると、非常に危機的状況にあります。ただこれは当地区だけの問題でもなく、他地区などもほとんど似たような状況にあり、アクター全体の喫緊の課題となっています。

ではなぜアクターが増えないのか、ということですが、これはそもそもアクター自身がアクトとは何か？というのをわかっていない節があるのではないかと考えています。歴が長い会員や年次大会などのホスト、地区役員を経験した会員はアクトについて説明ができる人が多いかと思いますが、自クラブの例会のみに参加して他クラブや地区の行事に参加をしたことがない方は、なかなか他人にアクトを説明することができないのではないかと考えられます。ただクラブに参加し、決まった時間に卓話などの例会を行うだけでは、それを説明して外部の人間に入ってもらってはなかなか難しく、積極的に紹介しようとは思わないでしょう。アクター自身がアクトの魅力、アクトについて深くわかっていないために、会員が増えないのだと考えます。

ではアクトはどんな場所なのか、「国際奉仕団体」だから奉仕活動をする場所なのか、ということについてですが、まずは当地区の活動内容について説明をさせて頂き、最後に私なりの考えをお伝えしたいと思います。

当地区では毎年10月の第2週目の土日に地区年次大会を開催しています。今年はコロナの影響で延期になり、先日2月28日にオンラインにて開催させて頂きました。東南ロータリーの皆様にも多数参加頂き、誠にありがとうございました。今年の年次大会は登録者数141名、参加者数120名ほどののぼり、例年と比べても非常に多くの方に参加頂けた年次大会となりました。今年はメインプログラムで「HUGゲーム」という、避難所運営シミュレーションゲームを行わせて頂きました。災害が発生したと想定し、避難所に駆け込んでくる避難者をどの部屋にどういった理由で配置するのかなどを、相談して決めて頂くゲームです。最終的に配置した理由をグループごとに発表してもらい、それぞれのグループの考えを共有してもらいました。今大会のテーマは「結ぶ」で、オンラインでありながらロータリーの方、他地区のアクター、自地区のアクターと絆を結び、縁を結んで頂くための場として、このメインプログラムを用意させて頂きました。大盛況のうちに終わることができ、楽しんでもらった大会ができたのではないかと実感しています。

地区研修会は6月末の土日に、卒会式と合わせて行っています。1日目に次年度以降も在籍するアクターに向けての研修プログラムを行い、2日目に卒業生を送り出す卒会式を毎年実施しています。昨年度はコロナの影響で卒会式のみとなりました。

留学生交流会は、熊本と大分でそれぞれ1回ずつ、年2回開催をしており、それぞれの県の留学生等を招待し、日本の文化や独自の行事、例えば運動会などを通して留学生と交流し、楽しんでいただく国際奉仕活動を地区の行事として行っています。昨年度は東南ロータリークラブ様が提唱している東南ローターアクトクラブがホストクラブを務め、茶道とかるたとりで交流を行って頂いています。大分側では大分中央ローターアクトクラブがホストを務め、竹田市で市内散策を行い、歴史と情緒あふれる竹田市内を散策して留学生に楽しんで頂きました。

アクトの森活動は毎年アクトの日と呼ばれる9月10日の前後日曜日と、4月10日の前後日曜日に活動を行っています。一昨

年度までアクトの森として地区でお借りしていた阿蘇の山中で草刈り活動と災害や環境などについて考える卓話等を行っていましたが、アクトの森の所有者との話し合いで使用できなくなり、昨年度から阿蘇グリーンストック様からお借りしている場所で活動をしています。昨年度は草刈りを行いました。今年はコロナの影響もあり開催を中止しています。また、グリーンストック様から植林活動をお願いされましたが、植林をするためにはまず現在の本木を伐採するなど、アクターだけでは手が足りないこともあり、次年度以降にロータリー様のお力を借りながら、計画的に実施していく予定としています。

またそのほかにも、地区で呼びかけをしてボランティアを実施したり、クラブによってはチャリティ活動を行ったりしています。

さて、最後にまとめです。アクトはどんな場所なのか、という点についてですが、交流を通して仲間を増やす場所であると思っています。仲間を増やすことで、一人では参加しにくいかもしれないボランティアにも、仲間を誘っていくことができる。奉仕活動だけでなく、なにが事業をやりたいと思った時に、仲間を募って一緒に活動できる。そういった仲間を見つける場所だと思います。

またその他にも、大きな行事を仲間と協力して開催することで、責任感、自主性が芽生えるのではないかと思います。最初はやらされて仕方なく協力しているアクターも、役割を任されて準備から行事の成功まで経験することで、達成感を持ち、今後のアクト以外の人生でも役立つであろう経験を積むことができる場所だと考えます。また、アクトでの経験（特に大きな行事のホストなど）を積むことで、リーダーシップを発揮する人材に成長していくのではないかと思います。歴代のアクト代表や年次大会、研修会などのホストを務めた実行委員長をはじめとしたアクターの多くは積極的な人材に成長した印象があります。これは普段生活していく中ではなかなか経験を積めないことだと思います。

次に、アクトは奉仕活動をする場所であるのか、についてですが、奉仕活動を「しなければならない場所」「し続けなければならない場所」というわけではないと思っています。一人一人が考え、自分たちができることをみつけ、奉仕活動をやりたいたった時に仲間と一緒に活動できる場所がアクトであると考えています。

もし若い世代の方に一緒に何かができる仲間を増やしてほしい、リーダーシップをとれる人材に成長してほしいという方がいらっしゃいましたら、ぜひアクトを提案して頂ければ幸いです。



アクト活動の現状について

アクターは減少傾向にある

2019年度(17-18年度)
16-17年度: 115名
17-18年度: 126名
18-19年度: 125名
19-20年度: 107名
20-21年度: 86名
※すべて7月年頭会員数

会員数増加が急務

- 集まりの少ないクラブも増加
- 人数が一部のクラブが多い
- 年間の活動が少なくなる
- 友人を呼んで来たとしても、7月以降の増加が難しい

なぜ会員が増えないのか

- アクトが何？
- なぜアクトクラブに入っているの？
- 何をやるの？

実際の活動

- 年次大会
- 研修会
- 留学生交流会
- アクトの森活動
- ボランティア
- 例会 (チャリティや卓話、スポーツなど)

年次大会

- 毎年10月第2週土日に開催
- 今年度は4月28日(日)に開催
- 参加者数141名、登録者数120名、参加者数120名、登録者数120名



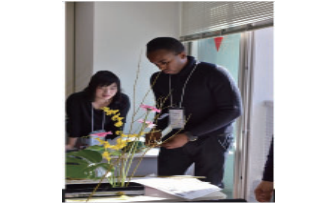
研修会

毎年秋に地区行政委員会主催の研修会
アクトについて学ぶワークショップは、卒業生も参加の中心企画である
毎年秋はコロナの影響で、早急が中止された



留学生交流会

毎年春本報、大分県で1回ずつ、年2回開催
県内の留学生を招待し、日本の文化や学習への種しや運動会など、留学生が楽しめるイベントを実施
今年度はコロナの影響で中止



アクトの森活動

毎年アクトの日（9月10日）前後の日曜日、アクトの森にて早朝の森活動を実施
一昨年度より今まで活動していた場所が所有権の問題で移ることに
- 昨年度よりアクトの森に隣接して隣町（アクトの森）の森に、森育きの活動を実施
- 今年度はアクトの森と隣接して隣町（アクトの森）の森に、森育きの活動を実施
- 今年度はアクトの森と隣接して隣町（アクトの森）の森に、森育きの活動を実施
- 今年度はアクトの森と隣接して隣町（アクトの森）の森に、森育きの活動を実施

ボランティア

昨年の7月豊後国で被災にあった人吉、八代地区、大分天
瀬地区に有志を募りボランティアを実施

チャリティ

クラブの集いでチャリティイベントを実施するクラブも多い
- 熊本グループにて、英語禁止ワークショップを行い、英語禁止の森育きの活動を実施
- 1000円募金をチャリティイベントとして実施
- 募金活動は、チャリティイベントを通じて社会に貢献するなどのチャリティを行うクラブが
毎年あり

アクトはどんな場所？

ローター会合時の理念と同じ。
- 交流を通して仲間を増やす場所
- 仲間を増やすと、実際にやりがいがあることにつながる
- 一人ではできないことを、二人、三人、二人、二人...
- アクトの仲間を助けた経験がある。
- 事業は活動だけでなく、人間的、事業も経験することである。

アクトはどんな場所？

大きな行事を企画して開催することで、責任感、自主性が芽生える
- 責任感を持って責任を持って活動することで、活動が止まらなくなるという経験が豊富
- 活動が止まらなくなるという経験が豊富
- 活動が止まらなくなるという経験が豊富
- 活動が止まらなくなるという経験が豊富
アクトの経験（特に大きな行事のホスト役）も積むことで、リーダーシップを発揮
する人材に成長する
- 活動が止まらなくなるという経験が豊富
- 活動が止まらなくなるという経験が豊富
- 活動が止まらなくなるという経験が豊富
- 活動が止まらなくなるという経験が豊富

アクトは奉仕する場所？

奉仕活動しなくてもいい場所、というわけではない
- 自分たちができることを、何だかんだと仲間と一緒に活動できる場所
アクトは今まで出会った友達とは違った仲間に出会える

点鐘

編集者 沼田敏雄

「あれから10年」ロータリーボイスより

投稿日：3月7, 2021

～東日本大震災を振り返る～（第1回）

寄稿者：菅原 裕典（仙台泉ロータリークラブ会員）

葬儀屋として大勢の犠牲者を弔う



大規模な遺体安置所となった体育館

東日本大震災の死者は、関連死も含めれば約2万人、いまなお行方不明の方は2千人以上います。現在、私たちを取り巻く新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックも未曾有の事態が及ぼす災禍であると言われていますが、10年前に発生した東日本大震災という未曾有の災害で、私は、自分の職業を通じて力を捧げなければならない状況に直面しました。

東日本大震災の発生や被害状況については既知の通りですが、葬儀社を営んでいる私に求められたのは、多くの犠牲者をどのように弔うかという待たなしの課題でした。自治体の要請を受けて数千本の棺を調達し、全国の同業者から大きな支援をいただきながらこれを組み立て、県内各地に輸送し、安置所での納棺までを指揮し続けました。